

第2回

複合アニオン
公開シンポジウム

新学術領域研究

複合アニオン化合物の創製と新機能

参加費
無料

日時 2017年 5月29日(月) 13:00 ~ 17:00

会場 九州大学 伊都キャンパス 稲盛財団記念館 一階会議室

キックオフミーティング 公開シンポジウム

特別講演

幾原 雄一 教授

『原子直視STEM法による
材料界面の究極観察・解析』

収差補正を用いた走査透過電子顕微鏡法(STEM)の登場により、材料中の単原子カラム一個一個について、その位置や元素の識別のみならず、局所的な電子状態や電磁場の解析までが可能となりつつある。本講演では、この手法を用いてアルミナ、バリスター、酸化物超格子、金触媒、リチウムイオン電池などの粒界や界面を詳細に観察・解析し、これより得られた新たな材料設計の指針やその機能発現メカニズムについて紹介する。

プログラム

13:00~ はじめに

13:20~ 特別講演

幾原 雄一 教授 (東京大学)

『原子直視STEM法による材料界面の究極観察・解析』

14:00~ 複合アニオン領域研究報告

司会 陰山 洋 教授 (京都大学)

荻野 拓 主任研究員 (産総研)

林 克郎 教授 (九州大学)

前田 和彦 准教授 (東京工業大学)

15:00~ 研究紹介

今中 信人 教授 (大阪大学)

『複合アニオン効果を有効活用した無機材料創成』

是津 信行 准教授 (信州大学)

『複合アニオン化合物“結晶”材料の創成と新機能』

片桐 清文 准教授 (広島大学)

『異分野連携による領域研究の推進

～融合マテリアルと複合アニオン～』

お問い合わせ先

林 克郎 (大学院工学研究院 応用化学部門)

Tel: 092-802-2859

E-mail: k.hayashi@cstf.kyushu-u.ac.jp

主催

新学術領域研究 複合アニオン化合物の創製と新機能

